

## スコットランド6日間大会

2007年8月 イギリス・スコットランド

仕事の都合でロンドンに住む稲葉氏。この夏、スコットランドの素晴らしいテレインを経験した。



スコットランド6日間大会を走る稲葉



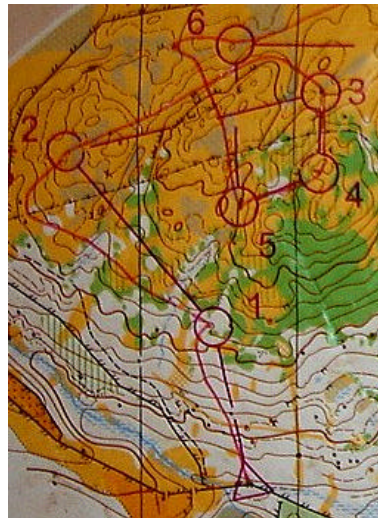
ネッシーの棲むネス湖

## 1日目(8月5日)

(7.8km 登り 345m)

前半走りにくいオープンもあり、登りも多く、なかなかタフでしたが、コントロールが25個と多い上、途中7箇所の柵の横断点がありましたので、まるでコントロールピッキングに近い状態で、比較的簡単なコースでした。

自分のレースとしては、迷いかかったところでコントロールが現れるなどラッキーしたところも多く、結果的にロスは2分以内で、日本国内の大会であれば3位以内は確実と思われたレースでした。しかしながらさすがに層は厚く、この日は90人くらい出走した中で33位でした。(74分46秒)



## 3日目(8月7日)

(8.3km 登り 190m)

登りが190mと少なく、楽なコースを期待していたのですが、実際にはでこぼこしていて細かい起伏が多くかなり体力を消耗するコースでした。難易度も地図で見るほど(特に前半)簡単ではなく、2分以上のロスを数回犯してしまい、スタート時間が遅かったこともあって、最後はエネルギーが切れかかってしまいました。この日こそ悪い順位を予想していましたが、なんと1日目と同じ33位でした。(75分22秒)



## 4日目(8月9日)

(8.1km 登り 75m)

休息日明けの4日目は、これまでの3日間とはかなり離れた海岸沿いの場所で開催され、平らなテレインでした。(この東側で来年4月にイギリス選手権が開かれる予定とのこと。)

1日目~3日目までは、小雨交じりの曇天が続いていて肌寒い天気でしたが、この日は初めて晴れました。ただ、それでも最高気温は20くらいで、日本の夏の温度とは大違いですね。

割りとは簡単なコースだったこともあり、初日よりミスが少ない素晴らしいレースでした。登りに弱い自分にと

## 2年に1度、スコットランドで

昨年末から仕事の都合でロンドンに住む私は、オリエンテリングにそれほど興味があるわけではない家族を無理やり引き連れ(もちろん表向きは観光ということで)、ロンドンから800km以上離れたスコットランド6日間大会に参加してきました。

スコットランドでは、隔年で夏に6日間大会が開かれており、とりわけ今年はインバネスの南東側の良質のテレインで開かれるということで、北欧からも多数の人が訪れ、当日参加(約800人)を含めれば4000人以上ものオリエンティアが集まりました。

今年の初めに、近くに住む多田正純氏(1983年、1985年の世界選手権日本代表)からのお誘いでこの大会の存在を知り、大会期間中は、多田氏の家族と一緒に家を1週間借りてそこに滞在しました。

幸いにして、家族4人(妻、中2と小5の息子2人)ともスタート時刻に近い時間にしてもらっていたので、走った後は(家族への約束通り)ネス湖に行ったり、近くの山にケーブルカーで登ったりしていました。

最終日の6日目のみ、その後の移動の都合で参加できませんでしたが、残り5日間、暑くない(むしろ寒いくらいの)スコットランドのすばらしいテレインを満喫しましたので報告します。



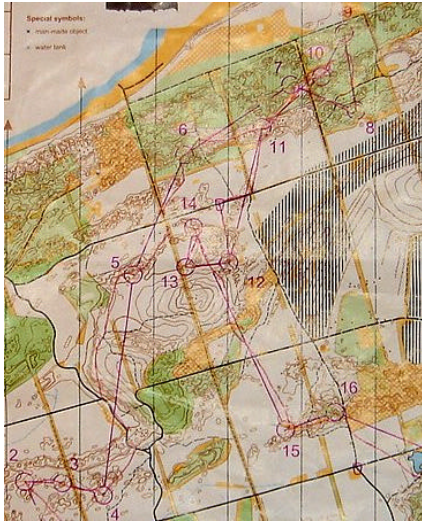
## 2日目(8月6日)

(7.9km 登り 330m)

この日も半分くらいがオープンで、登りも多くタフなコースでした。また、500m以上の長めのレッグも2つほどあり、バラエティに富んだ面白いコースでした。

自分としては、途中1分半級のロスが3箇所あり、合計のロスは5分ほどで、1日目よりもはるかに悪い順位を覚悟していましたが、やや難しいコースが幸いしてか、順位は逆に1つだけ良い32位でした。(80分20秒)

っては、ほんとうに気持ち良く走ることができました。おかげで当初の目標「3分の1以内」を初めて達成する25位でした。(ほんとうはもっと上位に入っていないかと期待していたのですが・・・)(64分21秒)



## 5日目(8月10日)

(7.7km 登り125m)

2つの山をそれぞれぐるっと回るコースで、後半の山の西側は、大きく開けた湿地のあるオープンでした。

自分としては最後のレースになるだけに、気合をこめて走り出したのですが、前半の山で地図の精度の甘いところに引っ掛かり、トータルで6分ほどのロス。後半に入り、まるで大島のトレインのような大きなオープンの中で完全にロストし、8分くらいのロス、さらに林に戻ったあとの急斜面のコントロールでも大きくミスをしてさらに8分くらいのロスをしてしまいました。自分でも過去に記憶がないほどひどいものでした。結果はさすがに悪く53位でした。(91分04秒)

## 6日目(8月11日)

(8.2km 登り225m)

移動の都合により不参加。

この6日間大会は、それぞれの日の結果をポイント化し、各人の良いもの4つの合計ポイントで総合順位を出すことになっています。もちろん自分の場合は、1日目から4日目までの結果が総合順位のポイントとして合算され、総合としては36位(103人中)でした。

思っていた以上に、日本とのレベルの差を実感することになりましたが、今回出場したM40Lクラスにはまだまだトップに近い選手も出ていたようなので当然のことかもしれません。自分は来年からM45に出場できる年齢になるため、次回は是非もう少し上位に入れ

るようにしたいものです。

さて、運営面で気づいたことを少し書いておきたいと思います。

## スタートの役員は少人数

スタートは、基本的に3つ(赤スタート、青スタート、白スタート)に分かれ、クラスによって、どの色のスタートかが決まっていた。日によっては、それぞれのスタートがかなり離れている場合もあるし、同じエリアに3つのスタートがある場合もありました。

注目すべきなのは、スタート枠です。各色で同時にスタートする人数は最大10人くらいに設定されていたのですが、出走チェックをする役員はただ1人。スタート3分前に枠に入る際に、一人一人名前を読み上げてから枠に入っていました。

枠はコース別には分かれていなくて、ただ一つの大きなレーンが、3分前、2分前、1分前の3つに分かれているだけです。参加者はスタート直後に、枠のすぐ先にあるコース毎に分けて置いてある地図を、自分の責任で取っていきます。

ですから、10コースくらいあった赤スタートでも、時刻掲示板を管理する役員、Eカード(SI)を初期化する役員、遅刻枠対応の役員を入れても、役員は5人くらいで運営されていました。役員も参加者も慣れているからできる方法かと思います。

## 広大な駐車場

さすがに4000人大会となると、広大な駐車スペースが必要です。どの日も牧場を駐車場に使用していましたが、会場の面積の70%は駐車場という感じでした。日本ではさすがに難しいですね。

こちらでは、青空会場が当たり前ですが、天候があまりよくなかったこともあって、スタート前には大半の人が車の中で待機していたようです。ですから会場となった牧場ではとても4000人も人が参加しているように見えませんでした。

## ゴール直後のラップタイム提供

ゴール直後にEカードの読み込み所があり、各日とも4~5レーン準備されていました。ほとんど渋滞することなく、ゴールの1分後には、ラップタイムのリストを手にしていました。日本でも増えているかと思いますが、こちらでは当たり前のサービスとなっています。

## 年少者用ストリーマーコース

以前から話には聞いていましたが、どの日も10歳未満の子供たちのためのストリーマーコースが会場の脇に設定されていました。500mもないような短いものがほとんどでしたが、幼い子供たちはこれらのコースでオリエンタリングに慣れていくのだと思われます。日本のトレインでは、残念ながらこのようなストリーマーコースを作ることさえも難しいですね。

## 見本地図

小5の息子(11歳)はM12Bというクラスに出たのですが、このクラスは下から2つ目に簡単なコースでして、いつも一番簡単なコースとともに、スタート前から会場に張り出されていました。日本でもこのような試みが始まっているかもしれませんが、一番下のコースなんかは、このようにそのまま見本地図として張り出してしまってもいいのではないかと思います。

## 女性の参加比率が40%

事前申込の人数は、男性2156人、女性1412人で、女性の比率が40%を占めていました。これだけ多いと女性の層が厚いのは当たり前ですね。私の年齢層でもほんとうに多くの女性オリエンティアがいます。(家の近くの公園で平日夕方ランニングをすると、男性よりも女性のランナーに会う方が多いです。かなり体格のいい女性も頑張っているらしいです。)

会場にそれほど長い時間いたわけはありませんので、見逃しているのかもしれませんが、日本人で参加していたのは、多田夫妻と私の家族の他に、石田小百合(筑波大OG、旦那さんがイギリス人)ファミリーだけでした。あまり日本人には知られていないような気がします。オーリンゲン大会に参加したことがありませんので比較はできないのですが、イギリス国内の観光も可能であることを考えると、日本と同じ左側通行ですからレンタカーの運転も楽ですし、イギリスでの8月上旬の6日間大会はお勧めです。

来年はウェールズで、再来年は再びスコットランドでの開催です。是非皆さんいらしてください。

なお、このスコットランド6日間大会の地図・全コース、成績などは、下記Webから見るができます。

<http://www.scottish6days.com/2007/Results.htm>

興味のある方は是非見てください。  
(稲葉英雄)